



まえはようちえんだより

第3学期を終えて(年少組)



令和3年3月24日
小田原市立前羽幼稚園
園長 越川 知香子

今年は暖冬で、2月末には、年長さんが育てたスイセンやヒヤシンスが次々と芽を出し、きれいな花を咲かせました。また、年少さんが育てた園庭のチューリップもぐんぐんと育ち、色とりどりの可愛い花を咲かせました。

今年は新型コロナウイルスの影響で、6月からの異例のスタートとなり、子どもたちへの影響が心配されましたが、今、思い返してみると、年少さんは一人一人が、幼稚園生活を楽しみに毎日期待をもって登園していたことが思い出されます。新しい環境にも少しずつ慣れ、とても落ち着いて好きなことや興味のあることに取り組み、毎日を過ごしていたように思います。このように、子どもたちが大きく成長することができたのも、保護者の皆様が温かく園生活を見守り、支えてくださったおかげと思っています。職員一同心より感謝いたします。

第3学期の思い出



<正月遊び・すごろく>

年長児に遊び方を教えてもらいながら繰り返すごろく遊びを楽しむうちに、自分たちで「すごろくをつくりたい!」とみんなで相談し“3匹のこぶた”のすごろくをつくりました。いろいろなルール(「おおかみに家を壊され〇まで戻る」など)を考え、入れ込み完成しました。数字や文字に関心を持ち、つくったもので、ルールを守り繰り返し遊ぶ姿がありました。



<正月遊び・凧あげ>

年少児はビニール袋で凧をつくり、年長児と一緒に公園や海岸に凧あげに行きました。年長児のカラーポリ袋で形に合わせて切ったり、竹ひごを付けたりしてつくった凧が高く飛んでいる様子を見て、年少児が、「年長さんの凧、かっこいいな!」と憧れの眼差しで眩くと、「いいよ!貸してあげるよ!」と自然に貸し借りをしている姿がありました。前羽の強味“異年齢のよい関係”を見ることができ心が温まりました。



<節分>

今年は、2月2日が節分でした。なぜ3日ではないのか?という不思議な出会いに探求心が芽生えました。年長児の張り子の面を見て「こわ〜い!どうなるの?」と覗き込み年長児の面に刺激を受ける姿もありました。年少児も一人一人がそれぞれのイメージでつくった鬼の面を付けて、未就園児のキラキラ星さんと一緒に豆まきをしたり、踊りを踊ったりして無病息災を祈りました。



<英語で遊ぼう>

今年度最終日。ジェレミー先生がホールに入り“ハロー”と話し掛けても反応がいま一つの子どもたちでしたが、ジェレミー先生のコミカルな動きに笑い声が広がり、心が一気に解れ、問いかけに大きな声で答えたり、ジェスチャーしたりする姿がありました。楽しみながら英語に触れることができました。



<ひな祭り会>

桃の節句に向けて、玄関に雌雛と雄雛が飾られました。ひな祭り会でブラックシアター(劇)を見ながら、“ひな祭り”の歌詞に合わせて、人形や装飾の意味について知り、日本の文化に触れることができました。また、園外散歩で買って来たひなあられを(距離を取って)食べ、楽しい時間を過ごしました。



<ありがとう会>

年少児が、一年間優しくいろいろなことを教えてくれた年長さんへの感謝の気持ちを込めて、話し合いをし、準備を進めてくれました。当日は、年少さんの進行で、踊りやゲームを楽しみ、年長さんにステキなプレゼントを渡すと、年長さんも手作りのティッシュケースをお返ししてくれました。添えられたメッセージは「年長さんになったら、すみれさんのお世話頑張ってるね!」など、心温まるメッセージでした。

地域の皆様に支えられて



<福豆を買いに行きました>

年末に押切郵便局に年賀はがきを投函に行きました。その道中に商店があり、店先の店主の方に子どもたちが挨拶をすると**快く挨拶を交わして**くれました。いろいろな物が売っていることに気付いた子どもたち。節分の福豆を“たたみ屋商店に買いに行きたい！”と、買い物に行くことになりました。当日は、福豆が1袋100円ということで、全員が100円玉を**手作り財布**に入れ、店内を探検し、レジで福豆を買いました。支払いをするとレシートをくれ、**買い物体験**をすることができました。また、“たたみ屋”という名前の由来も教えていただき、昔の前羽地域について少しだけ、知ることができました。こういった経験が**地域の昔に興味を持つ学びの芽のきっかけ**になっていくことがわかりました。

<座禅体験>

瀬戸川先生に座禅を教えてもらいました。禅は“非思慮底”といって体にしたまま何も考えずに**心を落ち着かせる**という意味があるそうです。姿勢も正し、腹式呼吸で鼻から息を吸い、吸う2倍の時間で吐き出します。年少児も、少しの時間ですが、なかなかできない**体験**をさせていただきました。



<ひなあられを買いに行きました>

9月に買い物に行かせてもらった“しまむらストア”にひなあられを買いに行きました。**季節が変わり、同じ店でも店内の展示品や売られている物に違いがあることに気付いた子どもたち**。また、数種類のひなあられから、どれにしようか選ぶ際にグラムと金額を比べ「こっちの方が、同じ値段で沢山入ってる！」と数量の違いに気付き、買い物かごに入れました。**数や数量にも関心をもつ姿**がありました。

<絵本の読み聞かせ>

卒園児のお母さんが読み聞かせボランティアに来てくれました。今の季節に合った内容で、柔らかく聴き心地のよい声色に、引き寄せられるように物語の世界へ入っていくようでした。子どもたちはとても静かに最後まで聞いていました。絵本を読むことは、**集中力を養い、新しい知識や価値観に対して興味をもてる豊かな好奇心と探求心を培う**ことにつながっていきます。

<ジャガイモ種イモ植えの準備>

げんき畑の草取りに行くと、小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんが来てくれました。草取り終了後、栄養をあげる（カルシウム肥料）と藤一さんが耕運機をかけてくれました。すると、今までカチカチだった土が「サラサラしてる！」「フワフワだよ！」と“サラサラフワフワ”の畑に大変身。**土の栄養を知ったり、土質の不思議に気付いたりして種イモ植えへの期待が一層膨らみ**ました。



<ジャガイモ種イモを植えました>

年少さんが種イモを半分に切り、1週間が経ちました。「このジャガイモが種イモ？」と少し**不思議に思った**年少さんですが、年長さんになってからの収穫を楽しみにしながら、げんき畑に種イモ植えに行きました。年長さんも一緒に手伝ってくれました。畑に到着すると、すでに小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんが畝をつくってくれていました。植え方を教えてもらい順番に種イモを土の中に入れていきます。「土をたくさん掘って、平らな方を下に向けて、そっと土のお布団を掛けてあげようね！」「最後にギュギュと押しよ！」と言いながら丁寧に植えていきました。イノシシ除けの柵も設置していただきました。最後に一年間を通して、お世話になった小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんに子どもたちから感謝の気持ち伝え、メッセージカードをプレゼントしました。**様々な豊かな体験をさせていただき、子どもたちの心が豊かに育まれている**ことを実感しています。ありがとうございました。

進級に向けて



<カカフトムシの幼虫の世話 引き継ぎ>

第2学期、カフトムシの幼虫が飼育ケースの上の方に出てきたことで、年長さんが“栄養が足りなくなってきたね。”と土替えをすると、17匹もの幼虫が育っていることに子どもたちは歓声を上げながら驚きました。その後、年長組の当番が木々や葉が乾いたら霧吹きで水をあげ、世話をする様子を近くで見えてきた年少組の子どもたち。幼虫がさらに**成長していることが予想された**ので、年長さんにやり方を**教えてもらい**ながら、飼育ケースを2つに分けて、広いスペースをつくってあげることにしました。飼育ケースの木々、葉、土をどかすと、下の方に幼虫がたくさん丸くなっていました。「生きているかな？」と幼虫を恐る恐る触ってみると、「あ〜動き出した！」と幼虫たちがゆっくりと動き始め、17匹全部が生きていることがわかりました。「よかった〜！」とみんなでほっと胸を撫で下ろしました。飼育ケースをきれいに洗い、今度は2つの飼育ケースに新しい腐葉土を入れ、幼虫たちを土の上に戻してあげると、あれ？あれ？みるみるうちに、土の中に潜っていってしまいました。**生き物の不思議も実体験**しました。「これからは年少さんにお世話をお願いします！」と**年長児から引き継いだ**年少児が毎日**愛着をもって世話**をしています。



<年長さんへコサージュ作り>

「優しくいろいろなことを教えてくれ、一緒に遊んでくれた大好きな年長さんに、お礼のプレゼントをしたい！」と卒園式に胸につけるコサージュ製作に取り組み始めました。「年長さんには内緒にしよう！」「年長さんに好きな色を聞きに行ってくる！」と言ってこっそり好きな色を聞いて、**心を込めて取り組ん**でいました。一人一人が自分で作ったコサージュを「**今までありがとう♡**」の**感謝の言葉**と合わせて渡すことができました。

<体験保育（未就園児）>

今まで年長児に、優しくいろいろなことを教えてもらってきた年少児。来年は、自分たちが年長さん。幼稚園に入園してくるすみれ組さんいろいろなことを**教えてあげたい**！という思いが育ってきています。新しい友達が一日体験に来ることを伝えると、「優しくしてあげる！」「分からないことを教えてあげる！」「一緒に遊びたい！」と**期待に胸を膨らませ**ていました。当日、未就園児の子どもたちは、楽しみにしながら、ちょっぴり恥ずかしそうに体験保育にやってきました。年少組の子どもたちは、「ここでブロックやろう！」「折り紙やる？」と進んで遊びに誘う姿がありました。**憧れの存在だった年長さんへの進級**がそこまで来ますね♡



<鍵当番 引き継ぎ>

園庭で遊ぶときに、年長組の当番が遊具庫の鍵を開けます。職員室に鍵を取りに来ると、大きな声で「失礼します。遊具庫の鍵を取りに来ました。」と言って鍵掛けから持って行きます。来年からは年少さんが鍵当番をやるため、順番に引き継ぎをしました。「この太鼓が付いている鍵だよ！」と、鍵に付いているキーホルダーの**特徴を教え、覚えやすいように教えて**あげている年長児。それをしっかりと聞き、「うん！太鼓だね！」と言葉を繰り返して頷いている年少児。南京錠の使い方も丁寧に教えている子どもたちの関わりに心が温まりました。

<あいさつ当番 引き継ぎ>

3校2園挨拶当番の引き継ぎを行いました。橘中学校区3校2園で大切にしていることとして**3つの“あ”の推進**があります。**あいさつの“あ”・あんげんの“あ”・あさごはんの“あ”**です。『元気よく気持ちのよい挨拶ができる』ことを育てていきたいと思えます。始めて経験する年少児も、年長児の大きくて元気な声を真似するように（**手本**にしながら）気持ちのよい挨拶ができました。保護者の皆様にもご協力いただきまして、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いたします。



<楽しかった思い出>



- せいや：まいにち、おいしいきゅうしょくをのこさずにたべたよ！
- かずき：しまむらストアーごっこでみせのひとをやったことがたのしかった。
- ほのか：ねんちょうさんとバルーンをしてたのしかった。
- はるた：ロケットやかタツムリ、たくさんつくってたのしかった。
- らん：ながなわとびをとべるようにがんばったよ！
- みこる：なわとびが10かいとべるようにがんばったよ。
- あきと：ほしぐみさんとドロケイやドッジボールをしてたのしかった！



<令和2年度卒園記念品>

年長児の卒園積立金で、購入させていただきました。年少児も、年長児と一緒に絵本を見たり、積木で遊んだりして楽しみました。

【ブナつみきプチ情報】

良質なブナ材を使用。穏やかな手触りで、面取りもしてあるので、安全な積木。

これからも大切にに使わせていただきます。

ブナつみき

絵本

ゲームボックス



【保護者の皆様へ】

日頃より前羽幼稚園の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。昨年度末から、世の中が大きく変わり、今年度は、日々変化する状況の中で、“ピンチがチャンス”と教育活動を見直し、知恵を絞って進めてまいりました。保護者の皆様には、様々な場面で温かく見守られ、ご理解とご協力をいただきました。今年度を終えられることに改めて感謝申し上げます。

さて、いよいよ4月からは年長組です。今まで身に付けてきた生活習慣を崩さない様に規則正しい生活を心掛けてください。春休みが終わって、心も体も大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

◆ 令和3年度 第1学期始業式 : 4月7日(水) 8:50~9:00 登園
入園式にもご参加願います。